

平成25年度 白老宏友会事業報告

| 項 目 | 主 な 概 要 |
|--------------------------|--|
| 法人経営と運営 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 法人経営、運営の企画立案と財政健全化を図った。 ・ 地域生活支援ニーズに応えるべく新設 CH「のあ」の建設に着手した（借り入れ財源にて対応）。さらに、平成26年度社会福祉施設等整備計画書の提出をし、次年度計画に備えた。 ・ 全事業所会計を新会計基準に移行した。 ・ 事業運営の拡充を図るための中堅職員研修（雲仙コロニー）を実施した。 ・ キャリアパスの一環として法人内研修を実施しスキルアップを図った。 ・ 共生型事業を通し地域密着として「はあもにい」の有効活用を図った。 ・ 共同生活援助、介護の一元化に向けた体制作りを図った。 ・ 白老町津波一時避難所として「愛泉園」を法人として協定する。 |
| 法人事業とサービス利用状況 (3月末現在) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域生活支援センター「あぶろ」(定員 85名) 共同生活援助 (10名)・共同生活介護 (75名) ・ 多機能型事業所「ポプリ」(定員 60名) 就労継続B型 (47名)・生活介護 (19名) ・ 生活介護事業所「みらいえ」(40名) 利用現数 (43名) ・ 生活介護事業所「愛泉園」(20名) 利用現数 (24名) |
| サービス内容状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「あぶろ」 夜間体制のニーズと体制強化を図ると同時に、新 CH 入居者の入居見据えた短期入所を主に利用の強化を図った。 ・ 「ポプリ」 工賃の維持を図るべく、商品開発、販路開拓の充実を図った。 ・ 「みらいえ」 新設事業所としてのプログラムの充実と支援の安定に取り組んだ。 ・ 「愛泉園」 小規模施設としての運用を見定め、老朽整備に着手した。 |
| 法人体制 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織の活性と運営の充実を図るために、早期対応計画のもと職員求人や職員人事に取り組んだ。 ・ 組織管理と健全経営面から規程（定款、事務決裁、公用車管理、賃金、慶弔見舞、育児介護休業、旅費等規程、就業規則）を改正した。 |
| 広報活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 法人機関誌「はあもにい」を年3回発行し関係機関等への情報提供を実施した。 |